プレスリリース

2014 年 10 月 29 日

登米市における災害時の自治体及び住民間の情報共有システムの実証実験への取材のご案内

～ スマホを活用した住民との共同遂行による避難所業務の効率化 ～

慶應義塾大学 SFC 研究所（神奈川県藤沢市、所長：小川克彦）は、宮城県登米市（市役所：宮城県登米市迫町、市長：布施孝尚）と TIS 株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役会長兼社長：桑野 徹、以下 TIS）と共同で、災害時における情報伝達・収集手段の確保と、効率的な避難所運営、住民との情報共有等を目指し、『災害時の自治体及び住民間の情報共有システムの実証実験』(以下、実証実験) を 11 月 7 日（金）に実施する予定です。

実証実験では、TIS 株式会社のクラウド型危機管理情報共有システム『Bousaiz（ボウサイズ)』を活用し、被災後 1 週間を想定した避難所における実証業務を、スマートフォンおよびタブレットを活用して行いますのでご案内申し上げます。

■スマートデバイスを活用した災害時の自治体/住民間の情報共有システムの実証実験　開催概要

日時：　2014 年 11 月 7 日（金）AM9:00～AM10:30

会場：　仮想災害対策本部　登米市市役所迫庁舎２階大会議室、
　　仮想避難所（登米総合支所および東和総合支所）

内容：　・みちのくアラート発報を受けての災害対策本部の開設
　　・スマホを使った避難者リスト管理
　　・救援物資管理

三陸自動車道 登米 IC 下車 20 分
仙台駅 高速バス 1 時間 37 分
三陸自動車道 石巻市河北追波川運動公園経由

本実証実験へのご取材をご希望される場合は、仮想避難所(登米総合支所)に直接お越し下さい。
仮想避難所(登米総合支所)へのご来場は、上記地図をご参照下さい。

■お問い合わせ先

宮城県登米市企画部　企画政策課　担当　櫻　E-mail：kikakuseisaku@city.tome.miyagi.jp
TEL：0220－22－2147　　FAX：0220-22-9164

■配信元

慶應義塾大学　湘南藤沢事務室学術研究支援担　河越　　E-mail: kri-pr@sfc.keio.ac.jp
TEL：0466-49-3436　　FAX：0466-49-3436